

毎号とじこんでください。きつとお役に立ちます。

美しいハーモニーで発足を祝う 合唱の街めざし連盟結成

合唱の街、音楽の街としての五所川原をめざそうと十一月五日、中央公民館で「五所川原合唱連盟」発足

記念の第一回合唱祭が開かれ、美しいハーモニーが約七百人の市民を魅了しました。

本市には、県内外に名前の知れわたった五所川原合唱団や五所川原ママコーラスなど多くの合唱団があり、それぞれ独自の活動を続けていますが、全体的な合唱の盛り上がりは今一つで、一同に会して演奏を聴き合おうとしても、その機会をつくるのが難しかった。

今後多くさんの合唱クラブに参加を求めていくほか中央から著名な指導者を招いて講習会を開くなど活発に連盟を運営していく考えです。

この日の結成記念合唱祭は、中央公民館の新しいピアノの披露も兼ね、本市出身で武蔵野音大大学院生の一戸真木さん、東京芸大三年の一戸秋香さん姉妹による連弾演奏に続いて、七団体が次々に美しいハーモニーを披露、大きな拍手を浴びました。

またこの日、森田市長は来賓として出席し「活力とうるおいのある街づくりのために、みなさんの一層のご活躍を期待しています」とお祝いのご言葉を述べました。



美しいハーモニーを披露した合唱祭

このため、四、五年前から「五所川原市の合唱を振興するために横のつながりとしての連盟が必要」という声の関係者に高まり、このほど結成にこぎつけたもの。県内では旧三市に次ぐ結成で、一戸和久五所高教諭を理事長に、森田市長らを顧問として発足。同連盟には現在、五小、七ツ館小、五一中、五所高、たんぼぼコーラス、五所川原ママコーラス、五所川原合唱団の七団体が加盟。同連盟では、



市民憲章 (昭和59年10月1日制定)

わたくしたちの先人は、不撓不屈の五所川原魂をもってあらゆる困難を克服し新田を切り開き、今日の活気に満ちた五所川原市を築き上げました。
わたくしたちは、この伝統を継承し、広い視野に立って西北津軽の人々と協調し、郷土の限らない発展を願って、ここに市民憲章を定めます。

- ◎心身ともに健康で、明るい家庭をつくります。
- ◎自然を大切に、力を合わせて花と緑の美しいまちをつくります。
- ◎平和を愛し、きまりを守り、住みよいまちをつくります。
- ◎文化を尊び、生涯学習をもとに心豊かな人をつくります。
- ◎未来に夢を持ち、創意と実践により栄えゆく郷土をつくります。

昭和61年
No.628

12-1

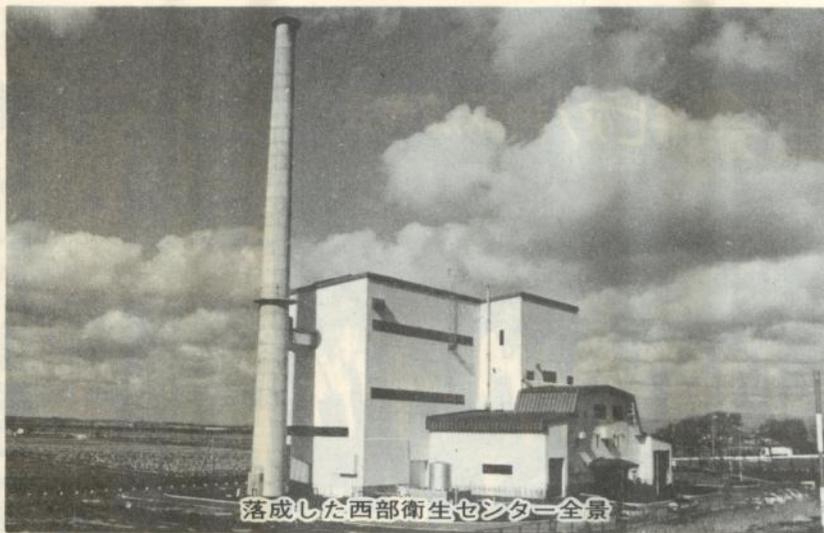
衛生センター落成

ごみ量の増大と多様化に対処

地域住民の生活向上に大きな役割

西北五衛生処理組合（管理者・森田市長）が稲垣村に建設した「西部衛生センター」の落成式が十一月十二日、稲垣村中央公民館で開かれ、同センターの完成を祝い合いました。

式には森田市長をはじめ関係町村長、来賓など合わせて約百五十人が出席。森田市長が「この施設の完成により、圏域内の各家庭、事業所から排出される可燃性ごみはすべて処理す



落成した西部衛生センター全景

ることができ、地域住民の生活向上に大きく貢献できるものと確信しています」と式辞を述べました。同センターは、高瀬の中央衛生センターの老朽化が著しいことに加え、年々ごみ量が増加し処理能力がそれに対応しきれなくなったことから昭和五十九年に建設工事に着手。また、その建設地としては、同組合の管内が広範なことから効率



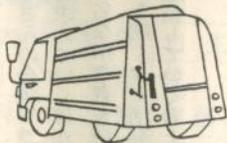
落成式で式辞を述べる森田市長

稲垣村に決められたものです。

同センターは、鉄筋コンクリート造り二部鉄骨造り（地上四階、地下一階）延べ面積約二千九百平方メートル、工事費十三億八千四百六十万円。焼却炉は、準連続燃焼式で一日当たりの処理能力は百トンです。

この施設は煤煙、悪臭、汚水などの公害防止に万全を期し、最新の設備を導入した近代的なものであり、

この完成は、衛生行政の大きな前進となりました。



西部衛生センターは、数多くの優れた点もつていますが、その中から二つを紹介いたします。

中央制御室 （ワンルームコントロールシステム）

各処理工程の運転・コントロールは、中央制御室で集中的に行われます。グラフィックパネルや場内設置した監視用カメラからの映像をモニターすることにより、各機器の運転状況が一目でわかるようになっていきます。運転操作はテレビ画面により、最新の情報を取り入れて運転管理しています。



中央制御室

入賞者に 表彰状を贈る

住みよい環境づくり作品展



森田市長（左）から表彰状を受ける子ども達

市と市民保健協議会（川村礼一郎会長）が先に行った「住みよい環境づくり作品展」の入賞者が決まり、十一月六日に働く婦人の家においてその表彰式を行いました。

表彰式には森田市長をはじめ対馬昭幸同協議会副会長、入賞した小・中学生など約四十人が出席しました。特別賞の受賞者は次のとおりです。（敬称略）

- ◇小学校の部
 - 古川智子（田川小5 標語）
 - 佐藤慈高（鶴ヶ岡小3 標語）
 - 下川原千晶（栄小5 作文）
 - 三橋利也（栄小5 習字書道）
 - 奈良綾子（田川小1 図画ポスター）
- ◇中学校の部
 - 榊引理香（五一中1 標語）
 - 辻村久美子（五一中3 作文）

待望の 西部 西北五衛生 処理組合



老朽化が著しい高瀬の中央衛生センター

今後の課題として 高瀬の処理場の移転新築

高瀬にある中央衛生センターのし尿処理施設は、昭和三十九年に操業開始以来、すでに二十二年余を経過しており、処理能力は当初の七十二キログラム/日から約六十キログラム/日に低下しています。

このため、中央衛生センターの移転新築を今後の大きな課題として検討を始めています。

西部衛生センター
稲垣村大字繁田
☎462141番

同センターには、タンクや畳などの可燃性粗ごみの破砕機を備えています。

このようなごみを処理したい人は、直接センターへ持ち込んでください。



歳末
たすけあい
運動
12月1日～31日

まっり開く

誘致企業 も初参加

農産加工3地区から出品 高まる商品化への期待

市、市内三農協、農業青年会議などが主催の「第三回五所川原市農業まつり」が十一月十五、十六の両日、市民体育館で開かれ、多くの人出でにぎわいました。

初日の開会式では、森田市長が「農業の振興こそ常に最重要課題であり、この農業まつりの開催を契機に

一層農業の振興を図っていききたい」とあいさつ。引き続き、北地方農林事務所長代理の一戸吉治次長と川浪直治市議会議長がお祝いのことを述べました。

この後会場では、昨年初めて販売し好評を得た「五所川原牛肉」の即売、農産物加工品即売、農林産物等

の共進会と直売市、西北五観光物産展、農業センター試験作物展、リフォーム展などが開かれたほか、食生活改善コーナー、米を使った料理展、健康相談などの各コーナーが設けられました。

また初日の午後には、五所川原りんごの消費拡大の



開会式でテープカットする右から川浪市議会議長、森田市長、一戸北地方農林事務所次長



農産物共進会場



誘致企業も初参加(好評を博した青森ファッション誌の製品展示即売)



農産物加工品の即売

ミスに今さん 準ミスに工藤さん、太田さん



ミスりんご娘に選ばれた今さん(中央)。準ミスの工藤さん(左)と太田さん(右)

第3回 市農業

コンパニオンとして活躍してもらおう「ミスりんご娘コンテスト」も行われ、和やかなうちにも厳正な審査の結果、出場者十一人の中からミスに今サツエさん(飯詰 地方公務員)、準ミスに工藤則子さん(広田 会社員)と太田富喜子さん(毘沙門 会社員)が選ばれました。

今回の農業まつりでは、農産物加工品の出品が、昨年毘沙門地区のみであったものが、今回はそれに加え、依元、小曲の各地区からも

なされました。りんごジュース、みそ、納豆、米菓子などの製品づくりが軌道に乗ってきており、商品化への期待が一層高まったといえます。

さらに、市の誘致企業である「青森ファッション」が初参加、自社の製品のハイフコート、ブラウス、ジャケット、ワンピースなどを展示即売し好評を博しました。

また、金木営林署コーナーも初めて設けられたほか、市内の小中学生から応募のあ

った農業についての図画、習字五百二十点も展示されました。

農業まつりの最後には、優良な農林産物等の出品者に対する表彰式を行いました。最優秀賞受賞者は次のとおりです。

- ◇果樹 石岡誠一(野里りんご)
- ◇野菜 安田正子(野里いちご)
- ◇工藤 潔(浅井 ねぎ)
- ◇花卉 越谷正博(飯詰きく)



飛ぶような売れゆきをみせた「五所川原牛肉」の即売



テープカットする右から森田市長、長沢ホーム運営委員、倉光菊栄会長、佐藤館長

若者達は二日間にあたりお互いの成果を披露しながら楽しく過ごし、十周年の節目を祝うとともに新たな飛躍を誓い合いました。

1年間の成果を披露 勤労青少年フエスティバル ホーム

勤労青少年ホーム(佐藤 佐太館長)の利用者が一年間を通して学んできた趣味や教養の発表の場である「第八回ホームフェスティバル」が十一月十五、十六の両日、同ホームで開かれ多くの若者達が訪れました。今回のメインテーマも、それにふさわしく「ワンダフル・フレンズ(すばらしき仲間達)」。

初日は午後六時三十分から開会式が行われ、主催者である菊栄会(ホーム利用者)の会長倉光秀彰さんのあいさつ後、来賓の森田市長とホーム運営委員の長沢四郎さんらがお祝いのことばを述べテープカット。

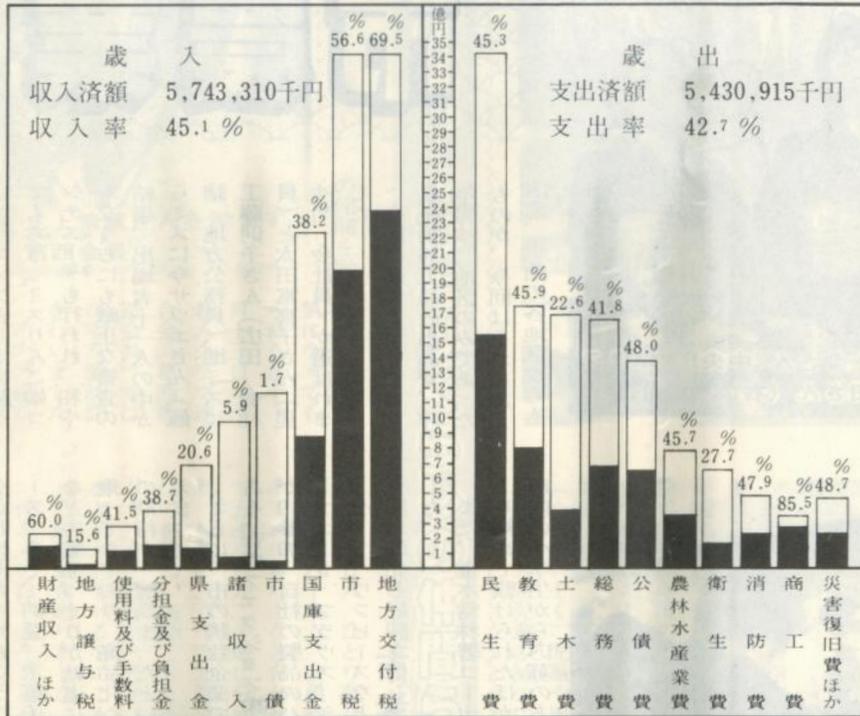
その後、吹奏楽団のコンサートを皮切りにジャズダンスなどが、また翌十六日は各教室やサークルの作品展示とチャリティーバザー、組みも実演などが行われました。



昭和61年度一般会計歳入歳出予算執行状況

歳入歳出予算額 12,726,626千円

■は、収入率または支出率をあらわす。



五所川原市の財政状況を公表します。
五所川原市長
森田 稔夫

市の財政状況（昭和61年9月30日現在）

この「五所川原市の財政」は、市の財政がどのように運営され、どのような状況にあるかを知っていただくために公表しているものです。
今回は、昭和六十一年度予算の執行状況と昭和六十年度決算の状況を公表します。

昭和60年度一般会計決算状況（見込み）

（単位：千円、%）

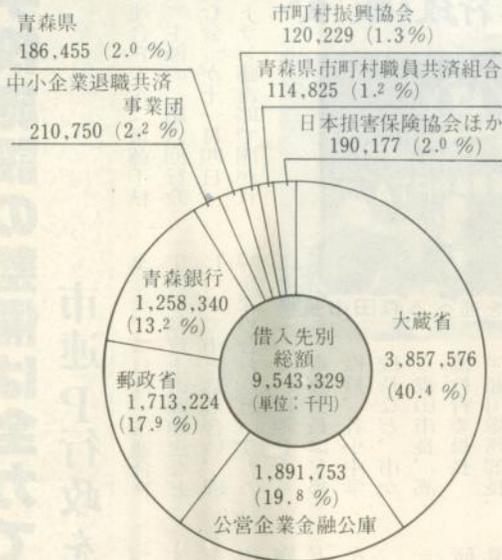
歳入区分	収入済額	構成比	歳出区分	支出済額	構成比
1 市 税	3,229,201	24.9	1 議 会 費	143,300	1.1
2 地 方 譲 与 税	103,242	0.8	2 総 務 費	1,604,400	12.4
3 自動車取得税交付金	60,028	0.5	3 民 生 費	3,063,463	23.7
4 地 方 交 付 税	3,516,229	27.1	4 衛 生 費	849,877	6.6
5 交通安全対策特別交付金	11,256	0.1	5 労 働 費	94,399	0.7
6 分 担 金 及 び 負 担 金	365,059	2.8	6 農 林 水 産 業 費	946,478	7.3
7 使 用 料 及 び 手 数 料	236,120	1.8	7 商 工 費	346,417	2.7
8 国 庫 支 出 金	2,639,691	20.4	8 土 木 費	1,943,431	15.1
9 県 支 出 金	720,325	5.6	9 消 防 費	481,860	3.7
10 財 産 収 入	100,417	0.8	10 教 育 費	1,941,931	15.1
11 寄 附 金	1,270	0.0	11 災 害 復 旧 費	189,848	1.5
12 繰 入 金	43,098	0.3	12 公 債 費	1,286,032	10.0
13 繰 越 金	38,086	0.3	13 諸 支 出 金	10,924	0.1
14 諸 収 入	856,368	6.6	14 予 備 費	0	—
15 市 債	1,038,376	8.0			
合 計	12,958,766	100.0	合 計	12,902,360	100.0

昭和60年度特別会計決算状況（見込み）

（単位：千円、%）

会 計 区 分	収 入 済 額	収入率	支 出 済 額	支出率
国民健康保険事業勘定特別会計	3,108,664	102.6	2,955,821	97.5
高等看護学院特別会計	50,383	94.7	50,383	94.7
長者森平和公園造成事業特別会計	6,950	105.3	6,580	99.6
下水道事業特別会計	1,013,747	99.5	1,013,747	99.5
老人保健特別会計	1,468,794	99.3	1,479,269	100.0

一般会計現債額

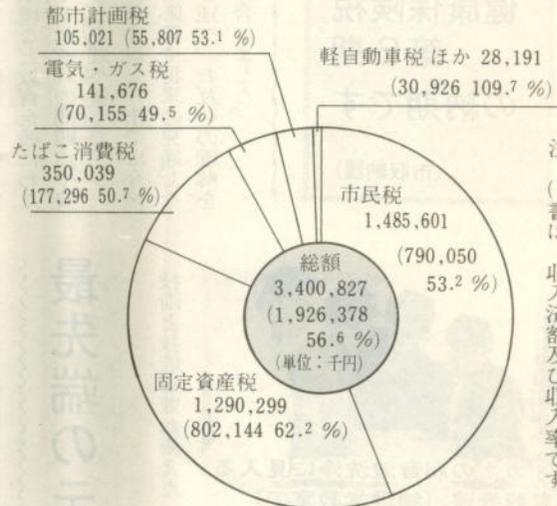
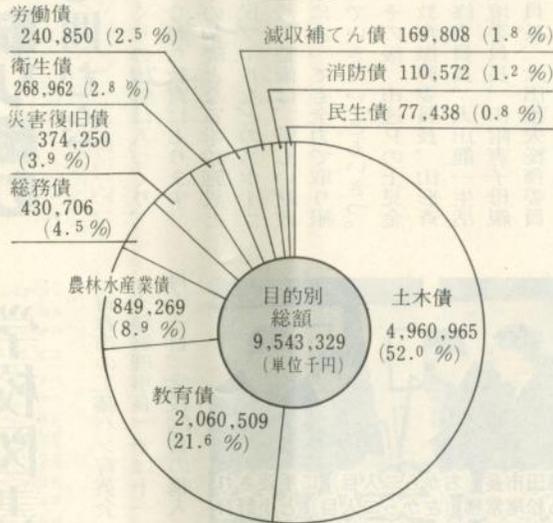


昭和61年度特別会計予算執行状況

(単位：千円・%)

会計区分	予算額	収入済額	収入率	支出済額	支出率
国民健康保険事業勘定特別会計	2,941,414	1,235,093	42.0	1,162,148	39.5
高等看護学院特別会計	44,510	2,402	5.4	19,607	44.1
長者森平和公園造成事業特別会計	3,765	3,504	93.1	993	26.4
下水道事業特別会計	1,013,014	236,144	23.3	318,907	31.5
老人保健特別会計	1,514,650	681,040	45.0	706,701	46.7
農業集落排水事業特別会計	145,209	0	—	35,222	24.3
工業用下水道事業特別会計	48,100	0	—	0	—

昭和61年度市税の状況



注 () 書は、収入済額及び収入率です。

昭和62年 新年名刺交換会

- ▷ 日時 昭和62年1月1日 午前11時
- ▷ 場所 市民文化会館2階
- ▷ 会費 1,500円 (申し込みと同時に納入ください。)
- ▷ 申し込み締切 12月20日(土)
- ▷ 申し込み先 市管理課又は五所川原商工会議所
- 主催 五所川原市・五所川原商工会議所・市内農業協同組合懇談会

昭和62年度 看護学生募集

—市立高等看護学院—

- ▷ 募集人員 40人
- ▷ 修業年限 3年(ただし、第3学年は臨床実習とします。)
- ▷ 入学資格 准看護婦(士)で次のいずれかに該当する人
 - ①免許取得後、3年以上看護業務に従事した人(昭和62年3月で3年就業終了見込みの人を含む。)
 - ②高等学校卒業者(昭和62年3月卒業見込みの人を含む。)
 - ③高等学校衛生看護科卒業生(昭和62年3月卒業見込みの人を含む。)
- ▷ 願書受付期間 12月1日～昭和62年1月17日
- ▷ 願書受付場所 市立高等看護学院
- ▷ 試験期日 昭和62年2月6日(木)
- ▷ 試験場所 市立高等看護学院
- ▷ 試験科目 国語、社会、看護一般、作文、面接
 詳しいことは、市立高等看護学院 ☎342715番 布屋町41番地) 教務にお問い合わせください。

学校施設の整備は全力で取り組む

市連P行政を囲む会

市連合PTA(斎藤千秋会長)主催の「第六回行政を囲む会」が十一月四日、レストラン藤吉郎で開かれ

ました。これは、市連合PTAが教育上の問題などについて市と話し合い、理解を深め合おうというもので、市連Pから斎藤会長はじめ役員、各小中学校長など、市から森田市長、高橋教育委員長、逆瀬川総務部長、三浦財政部長、山田建設部長など合わせて約百人が出席しました。

この後、市連Pの上見金一教育振興委員長、山形斉研修委員長、太田龍一生活環境委員長、田附憲子母親委員、太田雅夫総務委員長の五人が教育、文化、生活環境など教育全般にわたってそれぞれの問題点や要望などを述べました。



森田市長を囲む会であいさつを述べる

同会では、斎藤会長のおいさつに続いて森田市長が、「まちづくりの根幹は人づくり、すなわち教育にあります。その基礎となる学校施設と市民プールなどのスポーツ施設の整備は、厳しい財政下にあっても全力で取り組んでいきたい」とあいさつ。

これに対し、市では今後の対応策や将来の見通しなどを述べ、お互いの理解を深め合いました。

たばこは、市内から買いましょう

マイルドセブン一箱(三三〇円)につき、四二円四〇銭がたばこ消費税として市の収入になります。

12月は市民税第4期
健康保険税第6期の納期です

(市収納課)

学校図書の新購入にと20万円

工藤パン育英会

青森市の工藤パン育英会(工藤巖理事長)では十一月十一日、学校図書の新購入



森田市長(右から三人目)に手渡される松尾常務(左から三人目)と小野育英会理事(左)。右は鈴木教育長

に役立ててくだされと市に二十万円(一校につき十万円)を寄付されました。

市役所を訪れ、森田市長に手渡されました。これに対し森田市長は、「ありがとうございます。教育の振興に十分活用させていただきます。」とお礼を述べました。

同育英会は今年四月、学業優秀でありながら経済的な事情で就学困難な人を援助し社会に有用な人を育てようと設立されたもので、このたびの寄付は本年度の事業の一環として行われたもの。

この日は、株式会社工藤パンの松尾兼義常務取締役と小野雄蔵同育英会理事が五所川原商業高等学校にも同じく十万円を寄付されました。

最先端のテクノロジーを一般公開

青森職訓短大で初の学園祭

技術と技能を兼ね備えた



メガネの超音波洗浄に見入る参観者達(物理学教室で)

実践技術者の養成校として開校三年目の青森職業訓練短大(辻茂校長 学生数百六十三人)が十一月十六日、初の学園祭が開かれ、各地から多くの人々が見学に訪れました。

この日は、電子、金属成形、建築設備、生産機械の四学科を有しており、この日は、それぞれの科が最先端のテクノロジーを、広く一般の人にもわかるように展示紹介。また、軽音楽コンサート、映画上映なども行われたほか食堂、出店、喫茶店も開かれました。

学園祭のテーマは「ロングラン」第一歩。この学園祭を第一のステップとし、同短大が永く発展を続け伝統が築かれるようにと

という学生達の願いが込められています。

消火器の操作方法を学ぶ

第1回防火ゲートボール大会



ゲートボールを楽しむ参加者達

ゲートボールを通して、市民に防火を呼びかけよう

と十一月五日、市庁舎裏の市営ゲートボール場で「第一回防火ゲートボール大会」が開かれました。これは、五所川原地区防災協会(飛嶋孝英会長)と五所川原地区消防事務組が主催した

もので、市内各地区から二十九チーム、約百八十人が参加しました。

開会式では、大会長である飛嶋会長のあいさつ後、来賓として森田市長が「本市のゲートボールは、みなさんの熱意によってすばらしい高まりをみせています。この熱意を五所川原のまちづくりのためにお貸しください」とお祝いのご言葉を述べました。

引き続き、消防本部職員が消火器の操作方法について説明。その方法は、①消火器を現場(火源までの距離三〜七メートル)に持って行く

②消火器の安全ピンを抜く
③ノズル(放射口)の先端を持つ④取手を握る⑤火源めがけて放射する。この説明に基づき、参加者の中から五人が実際に消火器を手にして消火実験を行いました。



このあと競技が行われ、約四時間にわたって熱戦が展開されました。

上位入賞チームは次のとおりです。
①柏原町チーム ②錦町チーム ③あすなろチーム、水野尾Aチーム

貯蓄奨励で

市役所に感謝状

市役所はこのほど、郵政省から貯蓄の奨励を図った団体として感謝状を受けました。



佐藤五所川原郵便局長(右)から感謝状を受ける逆瀬川総務部長(左から2人目)、三浦財政部長(同右)、小野財政課長(左)

感謝状は十一月十日、五所川原郵便局の佐藤廣局長が市役所を訪れ、三浦新一財政部長と小野要一財政課長立合いのもとに逆瀬川清巳総務部長に手渡されました。

このほか市役所は、市広報紙での協力と職員の簡易保険加入協力で東北郵政局長表彰を受けました。



小型動力ポンプ付水槽車配備

水利の便の悪い所で威力

五所川原地区消防事務組合(管理者・森田市長)ではこのほど、小型動力ポンプ付水槽車(二千二百六十万円相当)を購入、五所川原消防署に配備しました。

同車は、キャブオーバー型三人乗りで、一万リットル以上大量の水を積載することから、水利の便の悪い所で火災などには特に大きな威力を発揮します。

また、同車の水槽と配管をステンレス製にしているため、災害時の水の補給などにも役立つようになっています。

小型ポンプ積載車を配備、消防屯所も落成

消防団第2分団

市ではこのほど、市消防団第二分団(藤田清治分団長)の第一部(七ツ館)に小型動力ポンプ付き積載車を配備しました。この積載車は、ダブルキャブ七人乗

りで価格は約三百万円です。また、同積載車を格納する消防屯所もこのほど完成。

同屯所は、面積約二十三平方メートル、木造平屋建て、工事費約百五十万円です。

十一月八日には、同地区の主催で積載車の入魂式と新屯所の落成式が行われ、これに森田市長、黒石消防長が出席しました。



三上繁蔵さんを励ます
葛西会長

寝たきりやひとり暮らし

の仲間を励まして、早く元

気になって、早く元
らおうと十一
月十三日、市
老人クラブ連
合会(葛西専
造会長)では
在宅友愛訪問
を行いました。
市内の寝た
きりの在宅老

人は四十五人、ひとり暮らしは二百六十九人。会員やホームヘルパーなど合わせて五十六人が二十班に分かれ、対象の三百十四世帯すべてを訪ね、缶詰、おしぼりタオル、石けん、お菓子などが入っている心のこもった慰問袋を贈りました。市老連では、五十三年に始めた友愛訪問に加えて、

三年前から婦人部や加盟クラブ単位でひとり暮らし老人への日常的な奉仕活動を始め、在宅老人福祉の輪は少しずつ広まっています。このうち錦町の三上繁蔵さん(83)方には、葛西会長、藤森市福祉事務所長らが訪れ、「早く元気になってください」と励ましました。

市老連が友愛訪問

寝たきり・ひとり暮らしの仲間を励ます



公開授業を見学する教育関係者達

統計教育の成果を披露

松野木小で自主公開研究会開く

県の統計教育研究校に指定されている松野木小学校(太田正己校長、児童数四十六人)で十一月六日、自主公開研究会が開かれ、西北五から関係者約百人が参加し、同校の統計教育を詳細に見学しました。

著しい実践効果を見せています。また、昨年十一月に本市で開かれた「第二十四回青森県統計大会」では、六年生の長尾秀齊君ら六人が「未来にはばたく五所川原―西北の中心都市」と題して研究発表を行い、その詳細な調査は出席者に感銘を与え大きな拍手を受けました。このほか、同校は指定校として数々の実績を上げています。

統計教育研究校の指定期間は三年で、同校は五十九年度に指定を受け今年が最終年度。初年度の五月からは、校内はだし歩きと青竹踏みを取り入れ、扁平足(へんべいそく)児童や風邪による欠席児童の減少に

「ねらいを持って意欲的に取り組む子どもの育成」を主題としたこの日の研究会は、全学年の公開授業で始まり、研究経過報告、児童発表、分科会などが行われましたが、これらを通して同校の学習活動が披露されました。最初に同校が取り組んだのが授業の改善。低学年時には良く発言していた児童も、高学年に進むに従ってそれが少なくなる傾向がある。このため、これを逆転させ、高学年になるほど児童が自主的に学ぶようにしていこうと統計を活用した教育を通して積極的な学習の実践を行ってきた

その結果、児童の物事に対する見方も客観的、科学的で、統計のデータから事実を読みとれるようになり、学習活動に大きく役立っています。

研究会の開会式では、森田市長が来賓として出席し、「小さい時から統計に基づいた思考ができる子どもを育てるために、統計教育がますます振興されることを期待しています」とお祝いのことばを述べました。

市民総合文化祭協賛 県下短歌大会開かれる

五所川原短歌会(浜田ちか会長)主催の第二十六回県下短歌大会が十一月十六日、市民文化会館で開かれました。同大会には、西北五はもとより県内各地から歌人約五十人が参加。大会は「当季雑詠」「仕事」の二つの宿題と「箱」の席題で行われ、参加者は熱心に作歌に取り組んでい

ました。この日、森田市長は来賓として出席し、歓迎のことばを述べました。上位入賞者は次のとおりです。(敬称略)
①工藤精一(鯉ヶ沢町)
②浜田ちか(五所川原市)
③番場允映(同) ④小寺柏太郎(中里町) ⑤成田裕子(稲垣村)

成人式は1月3日に

市では、20歳を迎えた人達をお祝いするための成人式を、新年早々に行います。

対象者には、住民基本台帳に基づき12月初めにハガキで通知いたします。

また、学生や勤務の都合などで市外に住んでおられる市出身者の参加も歓迎いたします。ご連絡ください。

- ▷日時 昭和62年1月3日④午前10時
- ▷場所 市中央公民館
- ▷対象者 昭和41年4月2日から昭和42年4月1日までに生れた人
- ▷その他 詳しいことは、市教育委員会社会教育課（☎内線 248番）へ。

発表者募集

成人式「はたちの主張」

新しく成人になられた方に日頃感じていることを述べていただく「はたちの主張」発表を予定しており、その発表者を募集します。ふるってご応募ください。

- ▷テーマ 成人式を迎えるにあたって感じていること
- ▷発表時間 4～6分
- ▷応募資格 新成人（昭和41年4月2日から昭和42年4月1日までに生れた人）
- ▷応募期限 12月10日④
- ▷問い合わせ先 市教育委員会社会教育課（☎内線 248番）

参加者募集

出稼ぎ留守家族激励訪問

出稼ぎ留守家族の不安解消、出稼労働者の安全就労の確保と福祉の増進を図るため、出稼ぎ留守家族による激励訪問を行います。参加希望者はご応募ください。

- ▷日時 昭和62年2月19日から23日まで（4泊5日）
 - ▷訪問先 東京都周辺
 - ▷交通 往復大型バス利用
 - ▷参加対象者 夫が東京都周辺で就労している出稼者（出稼協会及び事故見舞金加入者）の配偶者
 - ▷募集人員 4人
 - ▷経費 市出稼協会が負担します（本人無料）。
 - ▷申し込み締切 12月25日
 - ▷申し込み・問い合わせ先 市民課市民相談室（☎内線 282番）
- ※申し込み者多数の場合は、抽選で決定します。

市役所の電話番号は③52111番

市文化奨励賞・スポーツ賞

受賞候補者の推せんを

市では毎年、文化やスポーツ活動に優秀な成績をおさめられた方々に対して文化奨励賞やスポーツ賞を贈り、その栄誉をたたえています。該当する方がありましたら、ご推せんください。

- ▷表彰対象 五所川原市民又は本市に所在する団体で、本年2月22日から昭和62年2月20日までの期間中に文化及びスポーツ活動に優秀な成績をおさめられた方。又は永年にわたりスポーツ活動、育成に功労のあった方。
- ▷推せん様式 市教育委員会にあります。
- ▷推せん期限 12月25日④（ただし、推せん書類提出後に新たに候補者が出た場合は追加推せんをお願いします）
- ▷推せん及び問い合わせ先 市教育委員会社会教育課（☎内線 250番）
- ▷その他 表彰式は、2月21日④午後2時から市中央公民館で開催の予定です。

訓練校学生募集

県立身体障害者職業訓練校

▷募集科目

科 一般事務	刷 製 版 ・ 印	製造 光 学 機 器	科 目
各科 10名			定員
技能の訓練	ワープロ、事務機の操作及び簿記等	練 製本等の技能の訓練 写真植字、印刷、	訓練内容 カメラ用ズームレンズの組立て、調整等の技能の訓練

- ▷募集期間 12月3日～昭和62年2月28日
- ▷選考日 昭和62年3月6日

詳しいことは、身体障害者職業訓練校（☎0172-③6882番 弘前市緑ヶ丘1丁目9-1）へお問い合わせください。

**ごみの集積場所
を変更
12月17日～来年3月31日
冬期間ご協力お願いします**

冬期間の積雪のために、ごみ収集車の通行が困難となる次の集積場を中止します。期間は、12月17日(水)から来年3月31日(水)までです。

その地域にお住まいの方は、ご面倒でも近くの大通りの集積場を利用してください。ご協力をお願いします。

町名	冬期間収集を中止する場所
東町	全町内
幾島町	八木公園の中
川端町	大丸古川裏通り
	食事処弥生前(元菊の湯跡地)
中平井町	田辺旅館宅通り
下平井町	五所川原ラジエーター店奥通り
	老人ホーム横通り
	小川種店奥通り
湊	宮崎古物店奥通り
	鉄橋付近

緑のオーナー募集中 → 林野庁

- ▷ 募集口数 11口(1口当たり50万円)
- ▷ 募集期限 12月15日締切
- ▷ 現地案内 希望者には随時案内します。
- ▷ 申し込み・問い合わせ先
金木営林署(☎533115番)

**国民年金の保険料は
所得から控除されます**

国民年金の保険料は、サラリーマンの年末調整や自営業者などの確定申告において、「社会保険料」として所得総額から控除が受けられます。

控除が受けられるのは、今年の1月から12月までに納めた国民年金保険料全額で、本人の分はもちろん、家族の分や過年度納付分なども該当しますので、忘れないで申告してください。

なお、今年の保険料額は、つぎのとおりです。

- 定額保険料額 84,120円
- 1月～3月(月額) 6,740円
- 4月～12月(月額) 7,100円
- 付加保険料額 4,800円

市役所の電話番号は(35)2111番

62年保育所入所

面接調査を行います

昭和62年4月入所希望者(申請書提出済)に対する面接調査を行いますので、日時・会場を確認の上おいでください。

なお、どうしてもこの期間に面接を受けられない場合は、1月12日～31日に直接市福祉事務所児童係へおいでください。

また、面接には、やむを得ない事情を除いては、入所申請児童の母がおいでください。

▷ 持参するもの

健康保険証(同居家族全員の)

▷ 面接の日程

面接日	午前(9時半～正午)		午後(1時半～4時)	
	会場	対象保育所	会場	対象保育所
12月8日(月)	コミュニティセンター中川	中川保育園	コミュニティセンター三好	三好保育所 灘川保育園
9日(火)	コミュニティセンター長橋	長橋保育園	コミュニティセンター飯詰	若葉保育園 たかたて保育園
	毘沙門・長富コミュニティセンター	たかたて保育園		
10日(水)	コミュニティセンター松島	津軽野保育園	コミュニティセンター七和	七和保育園
			梅沢コミュニティセンター	梅田保育園
11日(木)	コミュニティセンターさかえ	さかえ保育園 広田保育園	コミュニティセンターさかえ	梅田保育園 なのみ保育園
12日(金)	市民文化会館(2階会議室)	五所川原保育園 まつしま団地保育園 かまや保育園 新宮団地保育園	市民文化会館(2階会議室)	第一さつき保育園 さくら保育園 第二さつき保育園

梵珠の銀嶺にいどむ

**親子のつどい
参加者募集**

- ▷ 期日 昭和62年1月10日～1月11日(1泊2日)
- ▷ 場所 梵珠少年自然の家
- ▷ 内容 親子でつどい、親睦レクリエーションやスキーハイキングを行います。
- ▷ 参加できる人
 - ・小学校3年以上中学生までとその保護者
 - ・少年団体とその指導者
- ▷ 募集人員 100人(初心者歓迎)
- ▷ 申し込み・問い合わせ先 県立梵珠少年自然の家(☎293303番又は293306番)

『第38回人権週間』

十二月四日から十日まで「第三十八回人権週間」

です。国連ではこれを記念し、毎年十二月十日を「人権デー」と定め、わが国では、「人権デー」を最終日とする一週間を「人権週間」と定めています。

「人権週間」にあたり、私達一人ひとりが、人権について考え、明るく豊かな社会をつくりましょう。

なお、毎日の生活の中でお困りの時は、青森地方法務局五所川原支局(☎34二二三〇番)または、お近く

の人権擁護委員にご相談ください。

相談は無料で、秘密は厳守します。

本市の人権擁護委員は次の方々です。(敬称略)

尾崎正雄 田町 ☎34二六二四番

石井福太郎 鎌谷町 ☎35三三八〇番

佐々木初海 吹畑 ☎35三一七七番

小笠原徳一 野里 ☎29三〇六一番

山谷 清 元町 ☎35三〇三五番

嶋口慶治 上平井町 ☎34二四三〇番

木村 資 鎌谷町 ☎34二四九三番

対馬郁夫 松島町 ☎34三二二一番

高橋武一 藻川 ☎36二九九四番

12月6日

特設相談所を開催

▽時間 午前十時〜午後四時

▽場所 丸友デパート二階 催事場

みちのく有料道路の通行料金が十二月一日、午前零時から変わります。

新料金は、普通車が八百円(現行六百円)、大型車Iが千二百円(同九百円)、大型車IIが二千八百円(同二千四百円)、軽自動車が六百円(同四百円)、軽車両が八十円(同六十円)となります。

現在お持ちの回数券は十一月二十日から来年の二月二十八日までの間、青森県道路公社(☎〇一七七の七

みちのく有料道路の通行料金が十二月一日、午前零時から変わります。

新料金は、普通車が八百円(現行六百円)、大型車Iが千二百円(同九百円)、大型車IIが二千八百円(同二千四百円)、軽自動車

が六百円(同四百円)、軽車両が八十円(同六十円)となります。

現在お持ちの回数券は十一月二十日から来年の二月二十八日までの間、青森県道路公社(☎〇一七七の七

また今回の料金改定に伴

みちのく有料道路通行料金 改定のおしらせ

三三二)または、みちのく有料道路管理事務所(☎〇一七七二六二〇一)で旧料金相当額分の新料金による回数券と交換します。詳しくは、前記へお問い合わせください。

なお、十二月一日以降、お手持ちの回数券で通行される方は、新料金との差額を料金所で現金で支払ってください。

また今回の料金改定に伴

い、回数券の割引率の引き上げも行い、これまでの十一回券(九割割引)に加え、六十回券(七割七厘割引)、二百五十回券(二十割引)も十一月二十日から発売します。どうぞご利用ください。

消火器の悪質販売に注意!!

最近県内で、消火器の悪質訪問販売の業者が摘発されました。その業者の販売方法は、消防職員らしい服装で、あたかも消防署から来たような素振り

で消火器を販売しています。消防署では、消火器の委託販売はしていません。最近の火災の状況から、消火器は設置すべきであると考えられますが、その際は、責任ある業者から購入するようにしてください。

(五所川原消防本部)

16ミリ映写機操作技術講習会

- ▷日時 12月10日(水)~11日(木)2日間
- ▷時間 午前9時30分から午後4時30分まで
- ▷場所 市中央公民館
- ▷受講料 1,500円

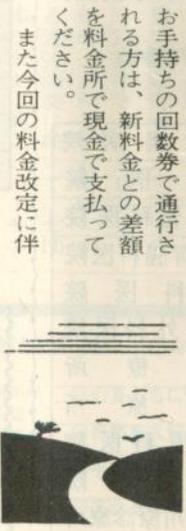
(テキスト代を含む)

▷修了証 テスト合格者には修了証を交付します。

▷申込み 12月5日(金)までに市中央公民館(☎356056番)へお申込みください。

主催 西北五地方視聴覚教育協議会 西北教育事務所 市中央公民館

短歌



五所川原短歌会

鈴木 宗美

開米 藤枝

井山 てい

一番場 允映

浜田 ちか

いわし雲はぜの実摘みをる指先に秋逝く光淡
淡と差す
時雨降り刈田の原に啼きしきる野鳥の声は悲
しみに似る
見る人も山車引く人もまばらなり最果ての佐
井の秋の祭は
一基つつ雑草むしり懐かしき碑の歌よめば歳
月おもしろ
かりそめに習ひし茶の湯生涯の仕事となして
われは老いゆく

みんなの健康教室

医師会と家庭を結ぶ「みんなの健康教室」が次の日程で開かれます。
お気軽においでください。

今回のテーマは
「痛みとその治療について」

- ▷日時 12月26日(金) 午後1時
- ▷場所 市保健センター
- ▷講師 桂 修二先生
(桂整形外科医院長)

主催 北五医師会 市民保健協議会

ミニドックを受けよう!

市では40歳以上の市民を対象に成人病の早期発見、早期治療を目的としたミニドックを実施しています。対象となる人は積極的に受けるようにしてください。

▷実施期間 昭和62年2月28日(土)まで。

▷実施時間 医療機関によって実施時間が違いますので申し込み時にお知らせいたします。

▷受診方法 受診を希望する人は、市衛生課窓口には保険証を持参のうえ、受診記録票の交付を受け、希望する医療機関で受診してください。

▷受診料 1,000円(申し込み時)

ただし70歳以上の方、生活保護世帯、市民税非課税世帯の方は無料(申し込みの際証明書を提出してください)。

▷診査科目 診察、身体測定、心電図、尿検査、貧血検査、肝機能検査。

▷問い合わせ先 市衛生課(内線272番)

◆実施医療機関◆

小笠原内科医院	白生会胃腸病院
兼平内科小児科医院	佐々木医院
川崎胃腸科内科医院	佐藤内科小児科医院
富田胃腸科内科医院	佐藤仁外科胃腸科医院
西北中央病院	荘司内科医院
木村内科医院	白戸胃腸科外科医院
田辺胃腸科外科医院	森田診療所
対馬内科小児科医院	三好診療所
中村内科医院	森内科小児科医院
増田病院	江渡医院
復明堂医院	健生病院五所川原診療所

市役所の電話番号は☎352111番



健康コーナー

「愛の献血」お願いします

- ▷12月26日(金)
- 午前10時から正午まで
末広町 五所川原保健所前
- 午後1時30分から4時まで
上平井町 NTT五所川原電報電話局

乳幼児の健康診査

- ▷場所 市保健センター
- ▷受付時間 午後1時～1時30分
- ▷持参するもの 母子健康手帳、バスタオル。3才児は尿検査も行いますので、当日きれいに洗った小ビンに尿を入れてもってきてください。

※注意 ①6カ月児健康相談の際に、神経芽細胞腫(小児がん)の検査セットを配付しますが、当日つごうで来れない場合は検査セットを衛生課窓口にて配付いたしますので、6カ月、7カ月の赤ちゃんは、ぜひおいでください。
②病気療養中(特に伝染性の病気)のお子さんはご遠慮ください。

月令	対象児	期日	内容
3か月児	S61年8月生	12月9日(火)	健康診査
6か月児	S61年5月生	12月16日(火)	健康相談
1歳児	S60年11月生	12月22日(月)	健康相談
1歳6か月児	S60年6月生	12月23日(火)	健康診査
3歳児	S58年7月生	12月18日(木)	健康診査

お問い合わせは、市衛生課(☎内線268・272番)へどうぞ。

休日・夜間の急病は

在宅医師の照会は消防署へ

☎35-2019番

(救急医療部会)